

【下高井戸子供園の教育目標】

“しあわせいっぱいの子供園”にするために、
次の教育目標を掲げる。

もりもりそだつ げんきなからだ
たいせつな なかまとじぶん
かんじる こころとあたま

— 教育ビジョン 2022 みんなのしあわせを創る杉並の教育 —

学び合い、信頼をつくり、共に生きる
ちがいを認め合い、自分らしく生きる
誰もが社会の創り手として生きる

＜教育の当事者として心がけること＞

子どもの思いを尊重する	ちがいを受け入れる
対話を大切にする	学びの成果を贈り合う
社会を創る当事者として考える	

【下高井戸子供園の経営方針】

- 心も体も弾む体験を積み重ね、体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにし、たくましく、しなやかな心身の発達を促します。
- 一人ひとりが大切な存在として、のびのびと自分らしさを発揮し、安定した心持ちで園生活を送ることができるようになります。
- 多様な人との関わりを通して様々な感情を体験し、互いのちがいを認め合い、自他への信頼や思いやりの気持ちを育みます。
- 子どもたちが自ら選んで環境に関わり、夢中になって遊ぶ楽しさを味わえるようにします。
- 基本的生活習慣を身に付け、自分自身と周りの人の心身の健康と安全を守ろうとする気持ちと道徳性の芽生えを培います。
- 特別支援教育を充実させ、集団の中で生活することを通して全体的な発達を促します。
- 多面的な幼児理解をもとに、幼児の実態を的確に把握し、一人ひとりに応じた適切な指導を計画的に工夫します。
- 就学前教育に取り組む専門機関として質の高い幼児教育の継続に努めます。
- 小学校以降の学びや生活の基盤を培い、幼児が小学校生活への期待を高められるよう、小学校との連携教育を推進します。
- 保護者、地域の願いや思いに耳を傾け、子どもの成長を共に喜び合う信頼関係を構築します。

【しあわせいっぱいの子供園にするために“子どもを取り巻く大人”に期待すること】

＜子どもたちのモデルとなる大人になろう＞



感謝



謙虚



成長

「ありがとう」を素直に言おう 「実るほど頭を垂れる稲穂かな」 学ぶことを楽しもう

＜憧れられる先生になろう＞

いつでも『子どもを中心に』考える
小さなつぶやきや変化を見逃さない
不易流行の姿勢で学び続ける
正しい人権感覚と多様性への理解を深める
職員同士の同僚性を高める